伊勢 友情
発行所・編集
三重県中勢防衛協会
TEL(059)228-9141
印刷　(有)ミフジ印刷

謹賀新年

令和6年元旦

増強第1中隊集合写真　今年を代表する訓練
ＦＴＣ訓練は9月下旬から10月上旬にかけ実施され、年度当初から長期にかけてＦＴＣ訓練に向け、あらゆる訓練や準備をしてきた33連隊は、任務を完遂し、全国にその名を轟かせた。

年頭にあたって

三重県知事　一見　勝之

新年明けましておめでとうございます。

駐屯地司令をはじめ隊員並びにご家族の皆様、関係団体の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

戦後最も厳しく複雑な安全保障環境下において、隊員の皆様方におかれましては、わが国の平和と独立を守る任務に平素より精励しておられますことに対し、心より敬意を表します。

南海トラフ地震等の巨大地震がいつ発生してもおかしくない状況に加え、昨年は三重県でも観測史上初めて線状降水帯が発生し、のり面崩落に伴う車両転落や停電等の被害が発生しました。

このような中、本県では「三重県総合図上訓練」や「三重県・鳥羽市・伊勢市総合防災訓練」を実施し、特に、九月の図上訓練においては線状降水帯による甚大な被害の発生を想定し、風水害への対応の強化を図りました。久居駐屯地の皆様におかれましてはこれらの訓練で重要な役割を担っていただきましたことに、改めてお礼申し上げます。

三重県では「県民の命を守ること」を県政の最重要課題の一つと位置付け、訓練等による災害対応力の強化に加え、活動環境の整備に取り組んできました。今後も自衛隊の皆様方をはじめとする防災関係機関との連携強化を図りながらハード・ソフトの両面から防災・減災対策の取組を推進してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、駐屯地司令をはじめ隊員並びにご家族の皆様、関係各位のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

新年挨拶

三重県防衛協会連合会　会長　兼　三重県中勢防衛協会　会長　伊藤　歳恭

明けましておめでとうございます。

久居駐屯地の隊員及び御家族の皆様におかれましては、麗しく新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、隊員の方々には自らの危険を顧みず、日夜御活躍いただいておりますことに、心から謝意と敬意を表します。

さて、昨今の国際情勢をみますと、ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエル・ガザでの紛争など、力による一方的な現状変更やその試みは、既存の国際秩序に対する深刻な挑戦となっており、国際社会は新たな危機の時代に突入しつつあります。パワーバランスの変化により、政治・経済・軍事などにわたる国家間の競争が顕在化し、中でも、米中両国の間では激しさを増しており、国際社会における共通の課題に対して、団結することが難しくなってきております。

こうした中、自衛隊の皆様方には、主たる任務である国土防衛や、大規模自然災害に対する救助活動、国際平和協力活動など、国内のみならず、国外からも大きな期待が寄せられており、益々重要な存在となっております。

殊に、久居駐屯地の皆様におかれましては、昨年、開設七十一周年を迎えられ、四年振りとなる記念式典の開催や、久居花火大会の開催など盛大に行われました。今後とも地域に密着し信頼される隊員として活躍されることを期待しております。

三重県防衛協会連合会といたしましては、隊員の皆様が安心してこれらの活動に取り組むことができるよう、関係する皆様方と手を携えて積極的に応援をしてまいる所存であります。

結びに、久居駐屯地の更なる御発展と駐屯地司令を始め、隊員皆様の御健勝と御活躍、御多幸を御祈念申し上げまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

第三十三普通科連隊長　兼　久居駐屯地司令　一等陸佐　金子　洋幸

新年あけましておめでとうございます。

久居駐屯地の隊員及びご家族の皆様、各協力諸団体をはじめとする関係各位の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は「コロナ禍」後として、地域の皆様との交流を以前の状態に戻すことにとどまらず、さらなる拡大として、新たな団体や地元企業の方々との関係が構築できるとともに、駐屯地記念行事等への来場者数も過去最高となり、自治体等関係機関の皆様とも顔の見える関係を再構築できました。また、訓練面での制約も無くなり、富士トレーニングセンター（ＦＴＣ）等の各種訓練において大きな成果を残すことができました。その過程で、精強な部隊であり続けるために厳しい訓練を乗り越える隊員の姿や、これを支えてくださる皆様の熱いお心に接し、感謝、感動、重責の自覚といった感情が沸き起こる経験を何度もさせていただきました。今年は、更なる飛躍の年にしたいと思っておりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、隊員諸官とご家族、各協力団体をはじめとする関係各位の皆様のご健勝とご多幸を祈念して年頭のあいさつとさせていただきます。

久居駐屯地ホームページ　久居駐屯地　検索　X（旧ツイッター）　インスタグラム　GSDF_MA_HISAI

年頭挨拶

津市長　前葉　泰幸

陸上自衛隊久居駐屯地の隊員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

金子洋幸連隊長をはじめ隊員の皆様方には、我が国の平和と安全の確保はもとより、地震や台風などの自然災害にも日夜ご尽力いただいておりますことに深く敬意と感謝の意を表します。

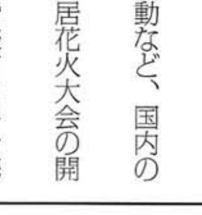
津市では、優先度が高い避難行動要支援者の迅速・円滑な避難支援のため、個別避難計画の策定に向けた取組みを進めており、令和六年四月からの運用開始を目指し、現在、関係機関と連携して具体的な避難支援方法の検討を行っているところです。大規模災害が発生した場合においては、関係機関の連携が不可欠であり、高い機動力と被災地における豊富な経験を有し、市民に身近な貴駐屯地の存在は非常に心強いものとなっています。

昨年七月の災害対策図上訓練では、第一中隊の皆様に参加をいただき、地震発生時における初動体制の確立や情報伝達活動等についての機能の確認・検証を通じ、連携体制の確保と初動対応能力の向上を図ることができました。

また、十一月に実施した南海トラフを震源とする巨大地震等の発生を想定した総合防災訓練においても、倒壊家屋からの救助など、応急活動を実施いただき、より実践的な訓練を積み重ねることができました。

今後も引き続き、貴駐屯地と緊密に連携を図りながら、災害に強いまちづくりを進めてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、隊員並びにご家族の皆様のさらなるご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年にあたってのごあいさつといたします。



新年のご挨拶

第三十三普通科連隊協力会大鷹会　会長　片岡　眞郁

皇紀二六八四年、令和六年甲辰、新年明けましておめでとうございます。

久居駐屯地の隊員及びご家族の皆様には健やかに新春をお迎えのことと喜び申し上げます。

隊員の皆様におかれましては、国防の任務遂行のため、日々訓練に精進されていることに心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年の世界情勢はウクライナ侵攻の終焉が見えないなか、隣国の北朝鮮は軍事技術と交換に弾薬等をロシア軍に供与し、中国と共にウクライナ侵攻に加担しております。中国による台湾侵攻も危惧され、我が国も紛争に巻き込まれようとしています。防衛力強化こそが真の戦争抑止力であり、長射程攻撃力獲得と配備によりアウトレンジ防衛の態勢をとることも抑止力となります。

中東の戦禍も目が離せなくなりましたが、自衛隊員としての国の防衛任務と、異常気象により頻発する自然災害への救助支援や国際貢献活動等、多様な活動への対応が求められております。

久居駐屯地の隊員の皆様には即応態勢を充実するよう精進して頂いておりますが、国民や地域住民に信頼される精鋭強靭な部隊を大鷹会は支援しています。また大鷹会は、地域社会との架け橋となり、国防意識の高揚を図り、駐屯地所属部隊の活躍を見守り応援します。

久居駐屯地の今後益々の発展と、隊員及びご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭の挨拶とさせて頂きます。

新年のごあいさつ

公益社団法人隊友会　三重県隊友会　会長　三石　浩夫

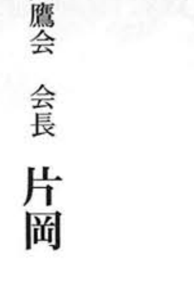
新年明けまして誠におめでとうございます。

金子洋幸連隊長をはじめ隊員及びご家族の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお祝い申し上げます。

久居駐屯地の皆様には、伝統に輝くこの久居の地で、国の防衛という崇高な任務達成のため、一致団結、日々厳しい訓練等に精進されておられることに対しまして感謝と御礼を申し上げます。昨年はコロナ禍の巣籠状態がやっと晴れ、四月の久居駐屯地開設記念行事は精強連隊の実力を発揮し迫力のある訓練展示は見事でした。また、昨年十月には北富士演習場でのＦＴＣ訓練では不敗を誇る難敵対抗部隊に立ち向かい訓練成果を発揮し、任務を完遂されました。来年も多様な任務に対応できる更なる精強部隊を目指し、健闘されんことをお願い申し上げます。

隊友会に対しましても日頃から、ご理解と温かいご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。

隊友会は自衛隊と国民の架け橋として、元自衛官としての誇りを胸に積極的に各種事業を推進してまいります。我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさが増しております。駐屯地司令を核心として、各種任務に即応できる態勢を充実され、地域住民により信頼される久居駐屯地の育成に努められんことを心からお願い申し上げます。駐屯地司令をはじめ隊員及びご家族の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し年頭のご挨拶と致します。



年頭のご挨拶

三重県自衛隊家族会　会長　本多　豊

新年あけましておめでとうございます。

久居駐屯地の隊員並びに御家族の皆様におかれましては、晴れやかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

令和四年、十二月には金子駐屯地司令をお迎えし訓練等も益々訓練に励んでいらっしゃると心強く感じています。

最近は、中国の力による進出、又、ロシア対ウクライナ、ハマス対イスラエルの武力衝突など心配な事が多くなっています。

私ども、県内には日夜訓練に励んでいる久居駐屯地の部隊及び隊員の皆様が近くに居ることが何より心強い限りです。

また、今年の夏は、久居花火大会でのグランドを一般開放して頂き大変楽しかったです。

私たち自衛隊家族会は自衛隊の隊員・学生・職員の家族により構成された自衛隊に一番近い組織と自負しております。

何時でも自衛隊を応援しています。

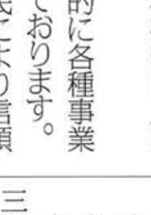
自衛隊協力会会長等

三重県防衛協会連合会
会長兼
中勢防衛協会
会　長　伊藤　歳恭
北勢防衛協会
会　長　竹尾　博光
南勢防衛協会
会　長　山野　稔
鳥羽防衛協会
会　長　中村　正人
伊賀防衛協会
会　長　田山　雅敏
尾鷲防衛協会
会　長　北浦　大
熊野防勢協会
会　長　榎本　義秀
中勢防衛協会
久居支部
支部長　山松　健一
三重県自衛隊家族会
会　長　本多　豊
事務局長伊藤　勝敏
副会長　深見　祈
副会長　松本　真人
副会長　竹尾　典行
津地区
会　長　横山　隆司
久居地区
会　長　岩野　清人
三重県隊友会
会　長　三石　浩夫
副会長　矢田　正美
副会長　一色　啓二
副会長　小楠　次男
副会長　三屋　薫
津支部
支部長　槇田　文郎
久居支部
支部長　中尾　一旦
松阪支部
支部長　岩本　豊一
第三十三普通科連隊
協力会「大鷹会」
会　長　片岡　眞郁
副会長　廣田　正治
副会長　川喜田真仔
副会長　西出　誠

3等陸曹として

第2中隊　3曹　上野（うえの）　翔平（しょうへい）　福井県福井市出身

私は、令和5年1月1日付をもって3等陸曹に昇任しました。私が3等陸曹に昇任するまで、幾度と困難なことがありました。私は昇任試験前に半月板を手術して一時期歩けない状態が続き自衛隊を退職しようと思った時期がありました。それでも私が陸曹を目指した理由は私自身の尊敬する陸曹の一言でした。その一言は陸曹になって一緒に仕事頑張ろうと言ってくれたことです。その人がいなかったら今頃、自分は退職して別の道に進んでいたかもしれません。だから、その人のような陸曹になりたいと思い陸曹を目指しました。しかし、陸曹に昇任して悩むことが多く、後輩に対する指導の仕方や、陸曹としての技術、知識がまだまだ足りていないと思い、ある陸曹に相談をしました。その人からの金言は、周りの人に対して感謝を忘れないこと、そして、陸士は、何があっても見捨てないという言葉でした。だから私は陸士がどんなに言うことを聞かなくても決して、見捨てたり、冷たくしない陸曹になろうと決めました。陸士がついてくる陸曹はやはり体力があり知識、技術が優れている陸曹だと思うのですが、私は、周りの陸曹に何か一つ負けない所を作ろうと考えました。だから私は、後輩に対して指導する際には、後輩目線で指導して頭ごなしに怒ったり、冷たくしたりしないような陸曹になろうと思いました。私が陸曹になって思ったことは、自分が陸士の時に周りの陸曹に対してもっとこうするべきだ等の様々な要望がありました。だから陸士の要望は聞いて、できる限り、要望に応えるとともに、後輩達が陸曹に昇任した時には下からの要望に応えられるような陸曹になって欲しいと思います。私自身も3等陸曹として日々精進し、陸士を引っ張っていけるような3等陸曹を目指します。



陸曹になって

第1中隊　3曹　後藤（ごとう）　歩（あゆむ）　愛知県名古屋市出身

私は、今年年男として一年を過ごし職務に邁進していきます。そこで私は2つ目標を立てます。1つ目は与えられた任務をしっかりとやり遂げることです。陸曹となり与えられる仕事量も責任も増え、後輩育成のためにも、自ら模範を示し、何事も全力で最後までやり遂げて行きます。2つ目は体力の向上です。普通科の初級陸曹として部隊の第一線で活躍するためには、戦闘体力が必要不可欠であり、日々の体力練成を怠らないようにします。

私は、令和5年7月1日付で3等陸曹に昇任し、それまで様々な経験を積ませていただきました。中隊では通信手として勤務し、レンジャー教育にも参加させていただきました。その中で特に2点勉強になったことを挙げます。

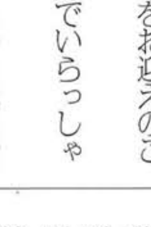
1つ目はレンジャー教育です。レンジャー教育では遊撃行動の基礎を学ぶとともに困難な状況にも耐える忍耐力、同期そして戦闘隊としていかなる任務も協力し任務を完遂して団結する大切さを学ぶことができました。

2つ目は第4陸曹教育隊に入校したことです。陸曹教育隊では、特に同期の絆と分隊長の実員指揮について学びました。

まず同期との絆については、訓練等で何か失敗などが有ればそれを乗り越える団結力、そして何事も言い合える環境及び人間関係性を構築することが大切であると感じました。

次に、分隊長の実員指揮については、分隊長としての資質と実員指揮の難しさを学びその重要性を認識することができました。

以上の経験を元に日々努力を忘れず来年は初級陸曹及び年男として今まで以上に頑張ります。



年女としての抱負

本部管理中隊　士長　佐野（さの）　奈々（なな）　三重県鈴鹿市出身

私の年女としての抱負は、無病息災です。意味は、病気をせずに健康でいることです。これを選んだ理由は2つあります。1つ目は年女の抱負を考えるにあたって四字熟語を調べたのですが、私が一番いいなと思ったからです。ネットで調べたら四字熟語は本当に沢山あり、決めれないなと思ったので、健康に関する四字熟語から決めました。

2つ目は、私は最近結婚して家庭を持ち、生活環境が変わったからです。営外者になってから、今まではなかった通勤で電車を利用しています。人が多いと感染症にかかる危険性が高まり自分だけでなく、家族や職場の人達に迷惑をかけてしまいます。また、私は一度新型コロナウイルスに感染し体調をとても崩し、同じ部屋の先輩方に迷惑をかけてしまい、家族にも会えずとても辛い経験をしました。その経験から、年女の抱負は無病息災を選び、そしてその予防として、こまめに手洗いうがいをすること、栄養バランスのとれた食事を食べること、十分な睡眠をとることなどを心がけようと思います。

最後に、もうすぐ一児の母になるので産まれてくる子供のためにも私自身が新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症にならないように心がけるとともに、分からないことだらけの出産・育児で大変な年になると思いますが、夫と協力し、産まれてくる子供と3人の明るく楽しい家庭を築き、健康に過ごしていきたいと思います。

1年を振り返って

重迫撃砲中隊　3曹　普天間（ふてんま）　綾乃（あやの）　愛知県豊田市出身

私は、来年で2度目の年女を迎えます。今年は、私にとって大きな変化のある年でした。それは、3曹に昇任したことです。3曹に昇任して様々なことを経験させて頂きました。特に、初級陸曹の履修前教育の支援では、多くの事を学びました。今までとは立場が変わり、教育を受ける側から教育をする立場になりました。改めて人に教えることの難しさを実感しました。教授予行では、問題なく進めていても、学生の前では緊張して言葉が出てこなかったり、予想外の質問に対応できなかったり、適切な表現が出来ず、誤って理解させてしまうなど失敗が多くありました。

事前に準備していても、実際に教育をしてみないと、何が足りていないのか分からず、教育を通じて、私自身に足りないことが何かを知ることが出来ました。今回の教育で失敗したことを振り返り、今後の教育に活かしていきたいと思います。

また、私は4月から補給陸曹に上番しました。係業務について初めて知ることが多く、覚えなければならないこと、やらなければならないことが沢山あり、不安ばかりが募っていきました。しかし、上司に相談に乗っていただいたり、業務について丁寧に教えていただいたりする中で、次第に業務の流れがわかるようになっていきました。

慣れない業務もありますが、1日でも早く補給係陸曹としての業務を習得し、中隊に貢献できるように頑張りたいと思います。

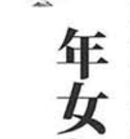
1年を振り返ると、失敗や反省する点が多くありますが、今後も失敗を恐れず、何事にも挑戦していきたいと思います。

年男としての抱負

第4中隊　2士　志田（しだ）　凛太郎（りんたろう）　三重県伊賀市出身

私は今年4中隊に配属されたばかりの新配置隊員です。今は覚えることばかりで、中隊の先輩方にお世話になりっぱなしの立場で中々役に立っていないと日々感じています。なので、2024年の抱負の1つとして、みなさんのお役に立つことができる存在になることを挙げます。そのためにも、日々の地道な努力を継続しようと思っています。私は今、課業外に5キロのランニングと腕立て伏せ腹筋をすることを日課としています。この日課を続けるとともに、毎日の課業に一生懸命に取り組むことで人から頼りにされる実力を得れるように努力します。

また2つ目の抱負として、自分のやりたいことを挙げます。私は自衛隊に入隊するまでは看護師を目指して看護学校で勉強していました。看護学校に入学するまでの私は、具体的な将来の目標も無く、看護学校に入学して手に職を持っておくと将来困らないからという何とない考えによるものでした。なんとか免許取得に至ったものの、女性社会の中の生きづらさや、やりがいを感じない勉強や実習を重ねたことで、このまま看護師になって自分は幸せなのかという疑念を感じ始めるようになりました。そして看護学校を卒業後自衛官として普通科隊員として働き始めてから生活は大きく好転しました。気の合う先輩方が多くいることや、終業時間が早く休みが多いこと、多様な仕事があってやりがいを感じることなど自衛官になって良かったことがたくさんありました。そんな職場で長く楽しく働けるように毎日努力を重ねるとともに、自分にとって楽しく、やりがいを増やしていける、そんな一年にしようと思います。



意識改革

第3中隊　士長　網野（あみの）　剛志（ごうし）　山梨県上野原市出身

私は、今年で36歳となり、3度目の年男を迎えることになりました。前回の年男の頃と比べると一日一日が短く感じることが多くなり、1年があっという間に経過する様になった気がします。しかし、私自身はいまだに未熟者であります。現在も上司、同僚を始めとした関係者の皆様に助けられ、ご迷惑をおかけしています。そのため、皆様には感謝するとともに、自らを成長させなければと考えております。そのために今回の年男という節目を大きなキッカケとして、自分の意識を前向きにして、成長するために自らを奮い立たせ、欠点を改善し、長所を活かせる様に意識して動き、自衛官そして社会人として、お世話になっている皆様に恩返しを行いたいと考えております。

そのために、今年は「意識改革」この言葉を心に留め、言葉だけで終わらせない様に行動し、皆様に恩返しを、自分自身の成長のために努力していきます。改善の第一歩として、36歳を迎える年齢に負けることなく、言い訳をせずに気力・体力を充実させ、今年中に候補生試験に合格して、入校指定者になることを目標とします。

また、がむしゃらに負けん気を持ち、盲目的に進むことだけではなく、私生活でも、仕事でも年相応の行動が出来るように、余裕を持つための教養や、新しい趣味を身につけるために一日一日を無駄にせずに有意義に過ごしていきます。

回顧と抱負

第130地区警務隊　久居派遣隊　3曹　金田（かなだ）　広貴（ひろき）　愛知県豊田市出身

謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中はとても目まぐるしい中、大変お世話になりました。本年は年男ということで、警務官として自衛官としての抱負を述べさせていただきます。普段私は、本部隊舎の一隅において駐屯地等で発生する事件・事故に係る業務を行っています。旧年を振り返ると、様々な経験をさせていただき冥利に尽きます。警務隊には様々な思いや事情を抱えた隊員が出入りしますが、法律を知らないが故、犯罪に巻き込まれる隊員も少なくないのが現状であり、課題です。法やルールを守ることは周知の約束事であり、法は私たちを守ります。法を知ることで、ためになることが沢山あります。ですから、社会的特性を踏まえた法的知識を普及して防犯意識の高揚を図り、皆様が任務に邁進し平穏な日々を過ごせるよう、陰ながら尽力していく所存です。

また、個人的なところでは、語学能力向上のため英語を学んでいます。過去に米国を訪れた際、彼らの前向きな性格や考え方に魅了され、英語を学ぶようになりました。「言葉は文化」というように、異文化を知ることで日本的な考え方やものの見方との違いを発見し、多様な価値観を身に付けていきたいです。昨今は米軍等との連携が深まる中で、語学能力は必要不可欠だと思います。本年は各種課程に入校し、更なる向上を求め日々学習していく所存です。

年女の抱負

業務隊　行（一）一　谷口（たにぐち）　明日香（あすか）　三重県津市出身

私は、平成31年4月1日から久居駐屯地業務隊厚生科共済班で勤務しております。

初めての係は貸付・物資係で、階級章等の販売から各種ローンの取り扱いなど幅広い業務であり、諸先輩方の教えもあり慣れるまで時間はかかりましたが、やり甲斐を感じました。次に貯金係を2年経験し、今現在は短期係で被扶養者の認定及び取消や組合員証等の交付及び回収、短期給付に関する業務を行っています。

プライベートでは、約2年前に結婚し、公私ともに大変充実しており幸せに感じております。

抱負として、私の趣味のひとつに資格取得があります。得意分野の資格だけでなく、様々な分野の資格を取得することで自分を高めていき、資格取得で得た知識を仕事に生かしていきたいと考えています。そして、色々な分野から隊員ひとりひとりに対して的確な業務支援を実施し、今後ともお世話になっている久居駐屯地の方々の力になりたいと考えています。

プライベートでは勉強中の料理のレパートリーを増やし、夫を食事の面でもサポートしていきたいと考えています。

新年の目標

第2普通科直接支援中隊　3曹　向井（むかい）　駿一（しゅんいち）　三重県名張市出身

現在、私は格闘指導官を目指し、格闘検定1級を取得しており、今年中に準特級を受検する予定です。来年中には準特級・特級を取得したいと考えており、その為にも来年は体と心を鍛え格闘指導官になる準備をしていきます。具体的には筋力トレーニングや、格闘技術の練成を行い、格闘指導官や職場の先輩等に協力してもらいながら日々、成長していきます。

現在の私は、7月1日に3等陸曹に昇任し火器整備陸曹として勤務しています。陸士の時とは違い、整備員としての知識・技能の向上が出来たことで、今までは携わることの無かった係業務等を実施する様になりました。

今後は、陸曹として今まで以上にお世話になってきた中隊に貢献していけるようにいろいろなことにチャレンジし、失敗しても何度も挑戦し続け、陸曹としての資質を高めていきたいと考えています。

また私は、陸曹になるにあたり「闘える後方支援隊員」になるという目標があり、整備員としてだけではなく格闘指導官・レンジャー隊員といった戦闘員としての技能と知識・体力を併せ持つことが出来る隊員になりたいと考えていました。しかしながら現状は、格闘しか出来ていないため、来年はレンジャー訓練に参加するため、先輩隊員に練成・指導等していただき、少しでも目標に近づけるような一年にしていきます。

最後に、後輩隊員の中に陸曹になりたいという隊員がいるので、その隊員の指導等に携わり、後輩育成にも力を入れていく一年にもしたいと考えています。

元　将哲　1尉	33普連第3中隊	家族第一
土井　洋範　3曹	33普連第3中隊	バイクで北海道一周
仲地　祐樹　3曹	33普連第3中隊	原点回帰
船山　秀人　3曹	33普連第3中隊	進取果敢
豊田　彬良　3曹	33普連第3中隊	親孝行
山本　竜紀　士長	33普連第3中隊	健康第一
大河内　彬　士長	33普連第3中隊	格好良い男になる
齋田　陽斗　士長	33普連第3中隊	錬磨無限
寺前　光紀　士長	33普連第3中隊	奮励努力
網野　剛士　士長	33普連第3中隊	改過自新
三橋　凱　1士	33普連第3中隊	有言実行
小野　明彦　1曹	33普連第4中隊	温故知新
田端　茂幸　1曹	33普連第4中隊	切磋琢磨
鎌倉　光助　2曹	33普連第4中隊	磊磊落落
桝本　昭宗　3曹	33普連第4中隊	泰然自若
市川　聖　3曹	33普連第4中隊	一期一会
伊藤　滉河　3曹	33普連第4中隊	不言実行
長崎　京弥　士長	33普連第4中隊	不撓不屈
東谷　啓汰　士長	33普連第4中隊	七転八起
志田　凜太郎　2士	33普連第4中隊	石の上にも3年
松村　真行　2尉	33普連重迫撃砲中隊	幹部として父親として、更に飛躍する年にしたい
野田　克幸　准尉	33普連重迫撃砲中隊	体力維持
伊藤　隆一郎　2曹	33普連重迫撃砲中隊	謙虚な気持ちを忘れず、日々精進したいです
小松　知幸　2曹	33普連重迫撃砲中隊	成長を実感できる年にしたいです
内藤　友文　3曹	33普連重迫撃砲中隊	健康第一
益川　大貴　3曹	33普連重迫撃砲中隊	男の修行
普天間　綾乃　3曹	33普連重迫撃砲中隊	雲外蒼天
宮田　茄希　士長	33普連重迫撃砲中隊	1年笑顔で頑張ります
杉山　璃子　士長	33普連重迫撃砲中隊	自分の決断に責任を持てるようにしたい
石垣　翔理　士長	33普連重迫撃砲中隊	今までの自分とは違う一年にし何事にも全力で挑戦したいです
井上　樹　士長	33普連重迫撃砲中隊	百錬成鋼
小河　英貴　1曹	第2普通科直接支援中隊	思慮分別　注意深く！
田中　寿宏　2曹	第2普通科直接支援中隊	健康維持
向井　駿一　3曹	第2普通科直接支援中隊	七転八起
鷲見　徹　2曹	久居駐屯地業務隊	無病息災、病気をせず健康で1年過ごす
徳田　竜二　2曹	久居駐屯地業務隊	一日一善
藤掛　知大　3曹	久居駐屯地業務隊	臥薪嘗胆
今井　優作　行ー1	久居駐屯地業務隊	座屈しない精神
谷口　明日香　行ー1	久居駐屯地業務隊	報恩謝徳
磯田　恭行　3尉	第337会計隊	[illegible]
清水　静香　2曹	第306基地通信中隊久居派遣隊	健康第一
金田　広貴　3曹	第130地区警務隊久居派遣隊	習うは一生…学ぶことを忘れない

※写真 R5.12.31 現在
1段目　氏名・階級
2段目　所属
3段目　今年の抱負

金子　洋幸　1佐	33普連連隊本部	前へ
田頭　辰之　1尉	33普連連隊本部	感謝
梅本　一郎　曹長	33普連本部管理中隊	体力向上
水流　嘉久　1曹	33普連本部管理中隊	新しい趣味を1つ見つける
鈴木　竜也　2曹	33普連本部管理中隊	家内安全、健康状態の向上
眞村　純一　3曹	33普連本部管理中隊	One For All 最高のチームを
加藤　由伸　3曹	33普連本部管理中隊	仕事と家庭の両立
吉村　海　3曹	33普連本部管理中隊	己に勝つ
藤野　倖太　3曹	33普連本部管理中隊	ゴルフ100切り
稲葉　吉康　3曹	33普連本部管理中隊	練磨無限
松永　昂輝　士長	33普連本部管理中隊	領域展開「無量空処」
佐野　菜々　士長	33普連本部管理中隊	無病息災
米川　将斗　3曹	33普連第1中隊	練磨無限
早川　翔雅　3曹	33普連第1中隊	勇往邁進
高須　琢生　3曹	33普連第1中隊	七転八起
後藤　歩　3曹	33普連第1中隊	伝統墨守
友田　迅人　3曹	33普連第1中隊	日々努力
辻本　隼汰　3曹	33普連第1中隊	常に全力
戸井　信吾　3曹	33普連第1中隊	一蓮托生
坂口　準人　3曹	33普連第1中隊	意気軒昂
渡邉　栞司　士長	33普連第1中隊	力戦奮闘
菊池　佑哉　士長	33普連第1中隊	常に挑戦
小森　健太　1士	33普連第1中隊	何事も経験
井伊　雅人　2士	33普連第1中隊	日進月歩
栗原　昂希　2士	33普連第1中隊	何事も全力
谷口　陽一　2士	33普連第1中隊	質実剛健
越取　優　2尉	33普連第2中隊	一意専心
平松　洋三　2曹	33普連第2中隊	昨日の自分に勝つ
吉田　高遠　2曹	33普連第2中隊	家内安全
渡邊　義明　2曹	33普連第2中隊	初志貫徹
吉田　高大　2曹	33普連第2中隊	健康第一
板垣　和志　3曹	33普連第2中隊	無病息災
上野　翔平　3曹	33普連第2中隊	切磋琢磨
上園　宙　士長	33普連第2中隊	万里一空
田畑　竜希　士長	33普連第2中隊	雲外蒼天
末松　銀二　士長	33普連第2中隊	磨斧作針
黒岩　太陽　士長	33普連第2中隊	百錬成鋼
廣田　志鵬　士長	33普連第2中隊	豪放磊落
若杉　凌　1士	33普連第2中隊	精神一倒
渥美　瑠　1士	33普連第2中隊	勇猛精進

「忍者のごとく身軽に降下！」

伊賀上野城高石垣清掃支援

33普連（連隊長・金子1佐）は、11月27日（月）から12月1日（金）までの間、三重県伊賀市から依頼を受け、訓練の一環として同市にある伊賀上野城の高石垣清掃を第1中隊（前中隊長・赤間3佐）主力とする作業隊50名をもって支援した。

平成9年から約3年に一度の周期で、雑草が景観を損なうとともに根が石垣に入り込み石垣が崩れるのを防止することを目的として、石垣清掃支援を実施しており、清掃支援活動を通じてより多くの市民・県民に自衛隊の活動を周知している。

この高石垣は、天守閣の周囲、東を除く三方に高く積まれた石垣で、高さ約30メートルであり、城の石垣では日本1・2を争う高さがある。その高さを物怖じせず、隊員達は協力しながら石垣を忍者のように行き来しながら、ロープを巧みに使用し、石垣の隙間に茂ったフジやシダなどを鎌やのこぎり等を使って伐採した。

また、城のお堀では、渡河ボートで待ち構えていた隊員により、高石垣から落ちてきた雑木を阿吽の呼吸で回収した。

5日間続いた作業により景観を損ねていた雑木が取り除かれ、伊賀上野城の高石垣は、その勇姿を再び取り戻した。

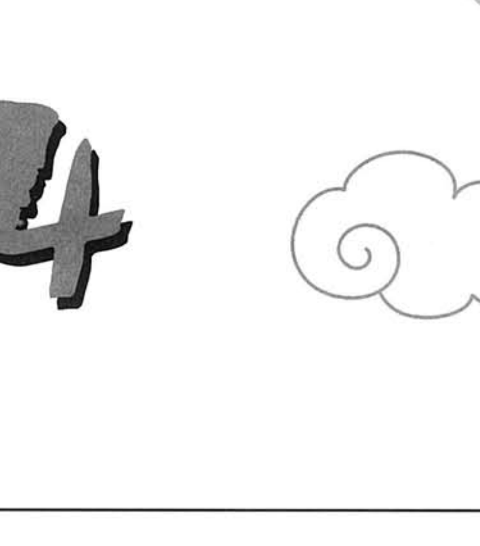
協力して伐採に挑む隊員

開始式の様子

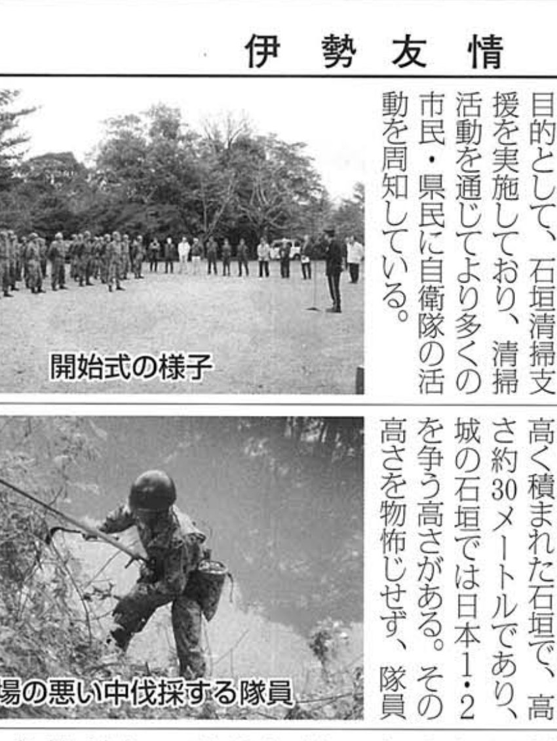
笑顔で石垣を降りる隊員

足場の悪い中伐採する隊員

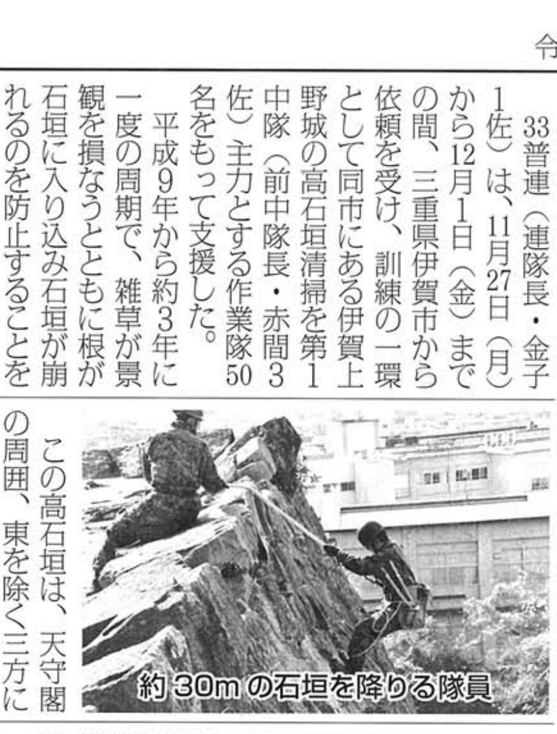
約30mの石垣を降りる隊員



渡河ボートで回収する様子



After



Before

新指揮官紹介

第33普通科連隊
第1中隊長
千葉（ちば）　浩雅（ひろまさ）　1尉

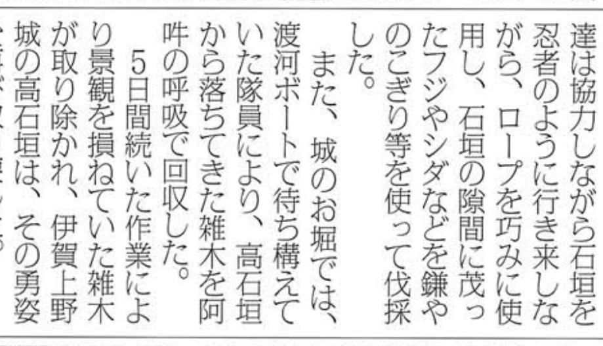
前部隊
教育訓練研究本部（目黒）
統率方針
「永久鎮居」
要望事項
「愛国心の保持」
「威容を示せ」
趣味
駆け足、旅行
出身地
東京都八王子市

2023 5大NEWS

伊勢友情の読者の皆さん、新年明けましておめでとうございます。いつも本紙を愛読して頂き誠にありがとうございます。

さて、2023年はどのような1年でしたか？1年間を振り返って印象に残った出来事や行事を写真で紹介したいと思います。

久居駐屯地最先任上級曹長交代式



久居駐屯地開設71周年記念行事

第47期レンジャー養成教育

第11・12次運営　FTC訓練　※写真は出陣式

4年振りに開催された花火大会

転出入者紹介

▼定期異動者紹介
【駐屯地外（異動先）】
▽1中
3佐　赤間陽介（善通寺）
【駐屯地内】
▽本中
3尉　有馬　太（連本）
▽3中
3尉　奥村賢二（本中）
【転入者】
▽1中
1尉　千葉浩雅（目黒）

優秀隊員紹介

▼師団定期表彰
▽第3級賞詞（職務遂行による功績）
1中　3佐　赤間　陽介
▽第3級賞詞（車両無事故による功績）
本中　2曹　藤尾　誠
重中　2曹　下岡　史明
▼連隊臨時表彰式
▽第4級賞詞（職務遂行による功績）
3中　3曹　柴田　大樹
▽第4級賞詞（車両無事故による功績）
1中　2曹　重山　正宏
4中　2曹　松崎　恭兵
4中　3曹　舛本　昭宗
▽第5級賞詞（職務遂行による功績）
重中　3曹　藤掛　隆人
重中　3曹　普天間綾乃
▼日本水難救済会沿岸海難救助事業
▽青い羽根募金感謝状受賞
久居駐屯地
▼第15期陸曹中級課程
▽中部混成団長賞
3中　2曹　奥村　宗佑
▼第82期陸曹基礎英語課程
▽第4陸曹教育隊長賞
重中　3曹　余郷　里実
▼祝園分屯地警備優秀隊員
▽祝園分屯地司令褒賞
本中　士長　重藤　克樹
本中　士長　前田　心
2中　1士　渥美　瑠
3中　士長　齋田　陽斗
▼師団らっぱ格付け
Aランク獲得者
重中　3曹　田中　雄大
重中　3曹　山際　瀬波
重中　3曹　川内　明星
重中　士長　伊藤　博基
▼12月喫食率優秀部隊
第1位
第2中隊
第2位
業務諸隊
第3位
第4中隊
▼服務意識向上施策に伴う服務優秀隊員
本中　士長　山崎　響子
1中　士長　岡竜樹ムニス
2中　1士　小林　颯太
3中　1士　今井　翔斗
4中　士長　小林　龍生
重中　1士　石井　優杜

定年退官者紹介

▽太田　弘士　1尉
（前　業務隊）
12月1日付
定年後
山九株式会社

長い間の勤務、お疲れ様でした。
これからも健康に気を付けて頑張ってください。

謹賀新年